



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,173	△57.1	△343	—	△324	—	△709	—
22年3月期第2四半期	5,060	—	1,808	—	1,815	—	1,182	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△55.45	—
22年3月期第2四半期	92.72	88.09

(注)当社は、21年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、22年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,136	9,797	80.7	764.56
22年3月期	13,929	10,613	76.2	832.08

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 9,797百万円 22年3月期 10,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,312	△51.1	△1,853	—	△1,860	—	△2,256	—	△176.18

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 12,814,800株 22年3月期 12,756,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 126株 22年3月期 115株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 12,795,604株 22年3月期2Q 12,756,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部では緊急経済対策や好調なアジア経済等に支えられたものの、厳しい雇用・所得環境や欧州における信用不安の影響懸念に加え、急激な円高進行等もあり、依然、先行き不透明な状況の中で推移致しました。

この様な状況のもと、当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

医薬品事業におきましては、大半を占める国内向け売上高が前年同期に比し、微減となったことに加え、海外向け売上高も、中国本土での落ち込みにより著しく減少したことから、医薬品事業全体の売上高は、前年同期を下回る結果となりました。

また、感染管理事業におきましても、新型インフルエンザ収束後の衛生対策意識と製品需要の低下に加え、流通在庫の滞留により衛生管理製品「クレベリン」シリーズの販売が極めて低調に推移したことから、新型インフルエンザ発生により飛躍的に伸長した前年同期に比し、同事業の売上高は著しく減少致しました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は対前年同期比2,886百万円減(57.1%減)の2,173百万円と大幅に減少し、売上総利益は対前年同期比2,122百万円減(57.7%減)となる1,554百万円となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、費用構造上、売上高の減少に必ずしも比例しないことに加え、衛生管理製品の倉庫保管料の増加等もあり、対前年同期比29百万円増(1.6%増)の1,897百万円となりました。

これらの結果、営業損益は、対前年同期比2,151百万円減となる343百万円の損失計上となり、経常損益は、対前年同期比2,139百万円減となる324百万円の損失を計上致しました。また、投資有価証券評価損及び減損損失等の特別損失115百万円や、法人税等調整額267百万円の計上により、四半期純損益は、対前年同期比1,892百万円減となる709百万円の損失となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

国内向け売上高は、特に『セイロガン糖衣A』が前年同期を上回って推移したものの、『正露丸』等を含めた国内全体の売上高は、前年同期に比し、微減となりました。

海外向け売上高につきましては、香港市場は前年同期を上回ったものの、中国本土での減少により、海外全体の売上高は前年同期に比し、著しく減少致しました。中国本土での販売のためのライセンス更新に伴う一時的な出荷停止の影響や、現地卸売事業者再編により、販売代理店側が一時的に仕入計画を見直したこと等が、その要因であります。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の医薬品事業の売上高は、対前年同期比292百万円減(11.5%減)となる2,236百万円となりました。また損益面につきましては、販売促進費の増加や医薬品事業への費用配賦割合の増加(感染管理事業に比し、医薬品事業に係る営業部門の人件費割合等が増加)により、対前年同期比274百万円減(24.1%減)となる866百万円のセグメント利益となりました。

(感染管理事業)

急速な新型インフルエンザの収束による衛生管理製品の需要縮小と異例な返品発生により、第1四半期連結会計期間は低調な業績推移を見込んだ一方、第2四半期連結会計期間は、衛生対策意識が秋口に向けて徐々に高まり、当社製品需要も再び増加するものと想定しておりました。しかしながら、小売店側への店頭販促策の提案等に鋭意努めたものの、卸売事業者や小売店等が前期より有する流通在庫の減少が想定した程進まず、第2四半期連結会計期間における当社の出荷も依然低調な水準に留まり、第1四半期連結会計期間のマイナス売上高を吸収するには至りませんでした。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の感染管理事業の売上高は、返品金額が出荷金額を上回るマイナスとなり、対前年同期比2,588百万円減の△78百万円となりました。損益面につきましても、売上高がマイナスとなったことに加え、生産数量減少に伴い費用に占める固定費割合が相対的に上昇したことも影響し、対前年同期比1,894百万円減となる422百万円のセグメント損失となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、引続き、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は対前年同期比6百万円減(32.4%減)となる14百万円、セグメント損益は、売上高減少に加え、同事業に係る研究開発費の負担等もあり、対前年同期比20百万円減となる14百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は12,136百万円(前連結会計年度末比1,792百万円減)となりました。また、負債合計は2,339百万円(同976百万円減)、純資産合計は9,797百万円(同816百万円減)となりまし

た。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産1,538百万円の減少、その主たる要因である仕入債務や法人税等の支払い等による流動負債967百万円の減少、また、四半期純損失や配当金の計上等による利益剰余金837百万円の減少であります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末から4.5ポイント上昇し、80.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、資金）が前連結会計年度末より2,049百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は3,006百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2,023百万円となりました。税金等調整前四半期純損失439百万円の計上に加え、売上債権の増加444百万円（主に医薬品事業）や仕入債務の減少392百万円、法人税等の支払額816百万円等の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は104百万円となりました。主に、所有不動産売却に係る手付金収入等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は103百万円となりました。主に、配当金の支払いによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月11日付（本日）にて「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しております。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,033,842	5,123,566
受取手形及び売掛金	1,773,980	1,331,090
商品及び製品	1,088,770	914,356
仕掛品	655,730	757,425
原材料及び貯蔵品	398,660	349,683
その他	309,294	320,218
貸倒引当金	△13,488	△11,516
流動資産合計	7,246,790	8,784,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,155,122	1,164,479
機械装置及び運搬具(純額)	218,833	245,829
土地	2,605,203	2,653,922
その他(純額)	246,319	153,992
有形固定資産合計	4,225,479	4,218,223
無形固定資産	75,361	84,585
投資その他の資産	589,084	841,556
固定資産合計	4,889,925	5,144,365
資産合計	12,136,716	13,929,190
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486,109	801,518
未払法人税等	9,523	823,826
返品調整引当金	48,185	97,000
賞与引当金	224,795	157,357
その他	713,201	569,277
流動負債合計	1,481,816	2,448,980
固定負債		
退職給付引当金	239,342	228,734
役員退職慰労引当金	5,400	589,400
長期未払金	565,700	—
その他	46,837	48,128
固定負債合計	857,279	866,262
負債合計	2,339,096	3,315,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	111,529	96,271
資本剰余金	22,758	7,500
利益剰余金	9,731,436	10,568,567
自己株式	△204	△188
株主資本合計	9,865,520	10,672,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,776	△3,166
為替換算調整勘定	△81,676	△55,036
評価・換算差額等合計	△67,900	△58,202
純資産合計	9,797,620	10,613,947
負債純資産合計	12,136,716	13,929,190

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,060,104	2,173,178
売上原価	1,346,524	667,976
売上総利益	3,713,579	1,505,201
返品調整引当金戻入額	14,000	97,000
返品調整引当金繰入額	51,500	48,185
差引売上総利益	3,676,079	1,554,016
販売費及び一般管理費	1,867,671	1,897,479
営業利益又は営業損失(△)	1,808,407	△343,462
営業外収益		
受取利息	16,271	915
受取配当金	1,397	1,543
受取賃貸料	9,682	8,054
保険解約返戻金	—	48,224
その他	8,079	6,445
営業外収益合計	35,431	65,183
営業外費用		
為替差損	28,329	40,545
その他	450	5,255
営業外費用合計	28,780	45,800
経常利益又は経常損失(△)	1,815,058	△324,080
特別損失		
固定資産除却損	3,213	1,085
減損損失	—	48,718
投資有価証券評価損	7,974	65,585
特別損失合計	11,187	115,390
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,803,870	△439,470
法人税、住民税及び事業税	729,560	2,160
法人税等調整額	△108,405	267,941
法人税等合計	621,154	270,102
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△709,572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,182,716	△709,572

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,803,870	△439,470
減価償却費	93,815	113,384
減損損失	—	48,718
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,155	10,607
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,700	△18,300
返品調整引当金の増減額(△は減少)	37,500	△48,815
賞与引当金の増減額(△は減少)	85,713	67,512
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,322	1,997
受取利息及び受取配当金	△17,669	△2,459
固定資産除却損	3,213	1,085
投資有価証券評価損益(△は益)	7,974	65,585
為替差損益(△は益)	16,820	28,052
売上債権の増減額(△は増加)	△2,024,041	△444,695
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,360	△124,308
仕入債務の増減額(△は減少)	△140,311	△392,284
未払金の増減額(△は減少)	109,408	92,474
その他	△26,871	△168,419
小計	△106,758	△1,209,334
利息及び配当金の受取額	17,646	2,458
法人税等の支払額	△175,230	△816,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△264,342	△2,023,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53,845	△24,465
定期預金の払戻による収入	36,530	63,210
有形固定資産の取得による支出	△99,281	△38,677
有形固定資産の売却による収入	—	105,000
投資有価証券の取得による支出	△686	△710
その他	△26,915	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,198	104,614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,970	△8,378
自己株式の取得による支出	—	△16
配当金の支払額	△21,260	△125,789
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	30,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,230	△103,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,601	△27,218
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△414,169	△2,049,365
現金及び現金同等物の期首残高	3,295,755	5,055,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,881,585	3,006,039

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	医薬品事業 (千円)	感染管理事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,529,008	2,510,016	21,078	5,060,104	—	5,060,104
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,529,008	2,510,016	21,078	5,060,104	—	5,060,104
営業利益	1,140,619	1,471,790	5,469	2,617,880	(809,472)	1,808,407

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製商品
医薬品事業	胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「ラッパ整腸薬BF」
感染管理事業	二酸化塩素関連製品「クレベリン」、「リスパス」
その他事業	木酢関連製品

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	台湾 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,562,185	449,350	48,568	5,060,104	—	5,060,104
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	352,766	266,027	—	618,793	(618,793)	—
計	4,914,951	715,377	48,568	5,678,897	(618,793)	5,060,104
営業利益（又は営業損失）	2,388,663	204,542	△11,564	2,581,641	(773,233)	1,808,407

(注) 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	中国・香港	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	449,350	48,568	19,242	517,162
II 連結売上高（千円）				5,060,104
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	8.9	0.9	0.4	10.2

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は次の通りであります。

その他の地域・・・米国、カナダ、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の系列別及び市場の類似性を考慮して、「医薬品事業」、「感染管理事業」及び「その他事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「ラッパ整腸薬BF」等を販売しております。

「感染管理事業」は、衛生管理製品「クレベリン」、「リスパス」等を販売しております。「その他事業」は木酢関連製品を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,236,991	△78,059	14,246	2,173,178	—	2,173,178
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,236,991	△78,059	14,246	2,173,178	—	2,173,178
セグメント利益又はセグメ ント損失 (△)	866,243	△422,435	△14,757	429,050	△772,512	△343,462

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△772,512千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△772,512千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間においては48,718千円であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。